

市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたずねるものです。

六月定例会では、六月二十日と二十一日に一般質問が行われ、通告順に次の八名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

- ・川口 明和議員
- ・佐藤 悟議員
- ・江波戸勝男議員
- ・越川 竹晴議員
- ・小川 博之議員
- ・大木傳一郎議員
- ・田村 明美議員
- ・荻谷 進一議員

政治姿勢について

問 市長の政治姿勢について、小泉内閣の五年をどう評価するか。

答 権を維持し、国民は大きく評価していると考えています。旧市町の良いところを生かす市政運営については、

問 旧八日市場市と旧野栄町の良いところを生かす市政運営については、

答 五年間の長期にわたり政

各種都市宣言

問 各種都市宣言の具体的施策については、

答 平和都市宣言、産業廃棄物最終処分場の設置反対都市宣言、健康都市宣言、米の輸入自由化阻止都市宣言、

農作業安全都市宣言、地産地消・食の安全と自給率向上都市宣言、七つの都市宣言をしました。

都市宣言の啓発ですが、広報、ホームページに掲載するほか、市役所



八日市場駅前「平和の像」に恒久平和を誓い、千羽鶴を捧げるセレモニーが8月1日に行われた

図書館分館について

問 野栄総合支所の図書館について、いつごろから始めるか、どのような形で行うか。

答 図書館分館は合併特例債事業として、新市建設計画に計上された事業です。

問 今年度を実施年度として計画しましたが、県との協議の結果、合併特例債の対象となる額が当初予定していた額を大きく下回るため、平成十八年度の実施は困難な状況となりました。

地域の要望も非常に強いことは承知しております。ほかの財源の見通しがつき次第、事業を実施していきたいと考えています。

市職員数の純減について

問 市職員数の今後五年間での純減について、定年退職者数の推移、新規採用者についての姿勢、現、行政体制において理想的な職員数とは。

答 職員の定数の削減及び管理は、合併後の重要な行政課題の一つであり、行政改革の

重点項目と認識しています。今後、団塊の世代が数年にわたり定年退職を迎えるわけですが、その間職員採用は極力抑制し、適正な職員数の実現に努め、簡素で効率的な行政運営を図っていききたいと考えています。

議員などの新盆見舞い等について

問 議員などの新盆見舞い、電報などの禁止の徹底と市から補助金を受ける団体の特定

候補推薦問題については、**答** 新盆見舞いについては、親族に限られるというところで、喪主を基準とした民法上の血族六親等、姻族三親等の範囲内に限られ、それ以外は禁止となります。

入学式等の電報ですが、祝電、弔電等については、問題

財政運営について

問 今後の財政運営について

答 団塊世代が大量に退職を迎える平成十九年度以降、生産年齢人口の減少に伴い、市民税、所得税なども減少し、その結果地方交付税の減少は避けられないと思います。

新市の建設計画における財政推計については、既に予測を上回って地方交付税などが減少していることから、平成十七年度の決算ベースにより

財政健全化プログラムの計画については、今年度中に策定する「集中改革プラン」の中で対応したいと考えています。

駅南口広場整備事業

問 八日市場駅南口広場整備事業の経過と植樹計画は、

答 事業進捗状況について、用地買収はJRからの買収を

除いて終了しています。自由通路については今年三月にJRと工事協定(その一)を締結して、早々に工事に入る予定です。

今後の予定ですが、七月ごろに工事協定(その二)を締結して、平成十九年六月ごろには自由通路が完成する予定です。

匣瑳市は日本一の植木のまちです。植栽ということに対しては、現在の土地の面積、用地からしますと低木ぐらいのものとは可能かと考えています。

合併記念公園建設について

問 合併記念公園の建設について、市役所北側の土地、三町三反、村中持ちから今日までの経過、建設の目的用途、財源の予想工事額、実施年度

ないと考えています。地元区の推薦という質問とありますが、地元区については任意団体です。市の補助金も受けていません。

この区の団体が推薦に関与することについては、問題ないと考えます。

時期については、また、市長在籍中に完成もしくは道筋を定めることへの決意は。

答 地域の方々のご理解とご協力をいただき、平成十二年十一月十五日付けをもって、市有地として登記を完了することができました。

この土地を多目的広場、いざ災害が起きた場合には避難所、健康のためのグラウンドゴルフの施設あるいは、サッカー場ということも計画はすべきだと思えます。

予算については、八億五千万六百万円、財源については、合併特例債を利用させていただき、一日も早く方向性を打ち出すのが課せられた責任と考えています。

排水問題について

問 排水問題全般について、

合併浄化槽の普及率、河川の水质検査は行っているか、その結果について、農業用排水路の整備について、農作物への影響、中間処理施設について、風水害時の海岸線沿いの排水については、



台風や大雨の際の湛水被害から家屋や農作物等を守る野田地区排水機場

答 合併浄化槽の普及率は二十三・九パーセントです。大利根用水西幹線に流入する都市下水路に、平成十一年度から水质浄化施設を試験稼

動させ、浄化対策を検証しているところです。

河川の水質検査の結果については、大布川の上流部であ